



わかくさだより

入間わかくさ
高等特別支援学校
TEL: 04-2941-5771
FAX: 04-2964-774

令和2年5月22日 第2号

ホームページアドレス: <http://www.wakakusa-sh.spec.ed.jp>

「これからが、これまでを決める」

校長 炭谷 渉

臨時休業が延長され約2週間が経過しました。5月19日（火）には県内の新たな感染者が0人となりました。64日ぶりのことです。

「今の行動が2週間先の未来を決める」と言われていました。まさに連休から2週間後の結果が出たということだと感じます。みなさんの冷静で誠実な行動制限の成果です。

国の緊急事態宣言の解除も視野に入り、新たな局面に入ります。学校再開に向けた具体的な検討や準備も始まっています。

東京都では全都立校に体温を感知できる機器「赤外線サーモグラフィ」を配備する方針であることが発表されています。県内では和光市が市内の全小中学校に赤外線サーモグラフィと非接触式体温チェッカーを配備することが発表されました。学校での赤外線サーモグラフィの導入は県内では初めてになります。

学校再開後も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みを継続しながらの学習活動となります。特に生徒の健康管理と3密を避けた指導の徹底は欠くことができません。その方法について校内で準備を進めている状況です。残念ながら、完全な形での学校生活再開はまだ少し時間がかかると思われます。

さて、「これまでが、これからを決める」という「原因→結果」という基本的な考えに基づき、安心できる未来のために行動制限に努めてきたところです。

緊急事態宣言解除にあたり、国や県は解除後の「新しい生活様式」への転換の必要性を示しています。

これからの我々の行動が、今までの努力と忍耐の意義を大きく左右することになると思います。表題の「これからが、これまでを決める」とは、本来の意味とは少し異なるかもしれませんが、そのことを強く認識させられる言葉として私の心に響きました。

※「これからが、これまでを決める」の意味はネットで調べるとすぐでできますよ！！